

見えない所で必ず誰かが

校長 武井 正明

週明けの天候は落ち着きましたが、越後線が運休となり、吉中の多くの皆さんが自宅待機、オンラインということになりました。昼食もご不便おかけします。

しかしながら、朝になっての豪雪や急な天候の変化がなかったのが不幸中の幸いです。

今日は半数弱の生徒が登校しました。給食も可能な限り提供できることになり、少しホッとしたところです。越後線の運休は今後も考えられることです。今回の判断がベストなものであったか否かは、校内で検討して今後に備えることとします。

今回、大きなヤマは金曜日と踏んでいたこともあり、私は少し油断していました。

私が住んでいる見附市の雪は、吉田地区とは違って、長岡市と同じくらい降りますが、吉田はたいして降りはないだろうと高を括っていました。

吉田地区は凍結と強風、そして運休が要注意であることを、再認識しました。

今回、昨夜遅い時間に越後線の運休を知った教頭先生が、いち早く対応を考えて連絡を下さっていました。職務とはいえ教頭先生は、今朝5時には長岡の自宅を出ています。

恥ずかしながら、運休を私が知ったのは朝起きて、教頭先生からの深夜入っていた連絡を見てからでした。その連絡には、対応策が3つ提示されていました。おかげで、私はより冷静に考えることができました。私が教頭先生と同じ立場だったら、このような対応はできませんでした。きっと「校長先生どうしましょう？」だったと思います。

山本教頭の迅速的確な対応に、心から感謝します。おかげで、吉中の皆さんが朝から大騒ぎ、ということにならずに済みました。

私は家を早く出たものの、いつもの道が通行止めになっており、遠回りしての通勤となってしまいました。

そして吉中の校門前を通過すると、管理員さんたちが既にきれいに除雪してくださった跡が見えました。職員の駐車場も確保してありました。

見えない所で、見えない時間帯に、多くの縁の下の力持ちの方々が助けてくださっているおかげで、安全安心を保った、通常の生活を進めることが出来ています。



それは雪国新潟ならなおさらのこと。

私たちが眠っている時間帯に、県内各地で除雪車を何周も廻ってくださっている業者の方々がいます。いつも当たり前に使っている電気やガス、水道も同じ。どちらが止まっても、瞬時に安心安全な、私たちの生活が脅かされます。

まだまだ厳しい冬、感謝の気持ちを忘れず、すごしていきましょう。